ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT
2560
国際ロータリー第 2560 地区

月信
5月号 May
2015-2016
Vol.11

夢 (gift) を 明日へつなげよう。

世界へのプレゼントになろう

01 青少年奉仕月間に寄せて

2015-16 年度国際ロータリー　第 2560 地区ガバナー　山本和則



ロータリーにおける青少年関係のプログラムの始まりは 1960 年台に遡ります。高等学校を対象にしたインターアクトクラブ（IAC）は 1962 年に米国でスタートしました。日本で始まったのはその翌年です。18 才から 30 才迄の若者によって構成されるローターアクトクラブ（RAC）の誕生は 1968 年で、同じ年に日本でも誕生しました。青少年交換制度の起源はさらに古く、1929 年フランスで最初の交換留学が行われました。ライラ（RYLA・ロータリー青少年指導者養成プログラム）は正式には 1973 年に米国で創設され、日本では 1976 年に始まりました。

このように長い歴史をもつ青少年関係のプログラムですが、国際ロータリーの規定審議会において従来の四つの奉仕部門に加えて、五つ目の奉仕部門にすると制定されたのは 2010 年のことでした。それにより、標準国際ロータリークラブ定款において「ロータリーの五大奉仕部門は、本ロータリークラブの活動の哲学的および実践的な基準である」と定められたのです。

さて、そこで改めて「青少年奉仕」を考えてみた場合、五大奉仕の中でも、誰が誰に奉仕するかという観点からすると、極めて特殊な奉仕部門といえると思います。「青少年に対する奉仕」ではなく、「青少年が奉仕すること」をロータリアンが支援し、かつ模範となることを目指しています。奉仕の主体はロータリアンではなく（ここが他の四大奉仕と異なります）、青少年なのです。そのことを考える月間にしましょう。

02 オランダロータリアンと親善交流

国際奉仕委員長　高橋　優子（新潟万代RC）

2016 年 4 月 7 日、オランダ国第 1550 地区 Rotary Club Midden Betuwe Valburg の 4 名のロータリアンと奥様たちをお迎えしました。

両地区は 2010 -11 年度、2011-12 年度に研究グループ交換 GSE 事業を行いました。そのご縁で今回当地区を訪れられたわけです。

当地区からは山本ガバナー、角南地区幹事を始め、国際奉仕委員会、地区幹部や新潟南 RCの会長・幹事、会長・幹事エレクト、ノミニーなどが参加し、昼はゴルフと観光、夜は鍋茶屋にて楽しく親善交流をしました。





03 ～愛と優しさ、思いやりの心で～30周年

三条北ロータリークラブ　会報委員長　馬場　直次郎（三条北RC）

我が三条北ロータリクラブが結成されて早や30年になりました。4月16日、山本ガバナー始め多数のロータリアンそして、國定三条市長、商工会議所会頭のご臨席を頂き、又祝賀会には泉田県知事のご祝辞も頂きました。

当クラブの外山会長は今回の熊本大地震の甚大な被害に対し参加ロータリアンに協力を呼びかけ、会場に支援の募金箱を設置。参加して頂いた方々に協力を求めました。

お陰様で35,000円の募金が集まりました。皆様の善意として地区へ送金させて頂きます。

アトラクションとして三条出身の全盲のシンガーソングライター佐藤ひらりさんミニライブを開催。30周年記念事業として作ったオリジナルソング「僕らはパートナー」「Feel My Love」2曲を会員と一緒に熱唱。佐藤ひらり withSNR67。として収録したCDを記念品として皆様にお持ち帰り頂きました。CDご希望の方は三条北RCまでご連絡下さい。





04 インターアクト台湾研修

インターアクト委員長　高橋　信行（柏崎東RC）

3月31日から4月3日の三泊四日の行程でインターアクト台湾研修に行ってまいりました。インターアクター 32名（新潟12名と群馬20名）とロータリアン4名の総勢36名での訪台でした。

今回の訪問先は三重高級中學で、バスから降りると非常に熱い歓迎を受け、インターアクターは感激の中でホームステイ受入の生徒と一緒に式典に臨み、学校内でクラブ活動に参加した後、各ホームステイ先へと向かいました。翌日、夕方までホームステイ先で過ごして、「さよならパーティー」で全員が合流しました。わずか一晩のホームステイではありましたが、インターアクター達が言葉、文化の壁を越えて親しく交流する様子から、この研修がとても有意義なものであったと認識しました。感受性の極めて高い十代でのこの経験が将来の国際理解の形成におおいに役立ってくれると確信した次第です。

今回の台湾研修を支えてくださった皆様、どうもありがとうございました。







05 2015-2016年度　米山カウンセラー研修会開催

米山記念奨学委員会　奨学生選考委員長　宇尾野　隆（新潟RC）

4月9日（土）にホテルオークラ新潟に於いて2015-2016年度の米山カウンセラー研修会を開催しました。

本年度は、18名の新規奨学生の採用が決まっており18名の新規カウンセラーの皆様にご参加をいただきました。初めに、米山記念奨学会のパワーポイント「カウンセラーのためのオリエンテーション」とカウンセラーハンドブックを使い、私の方からカウンセラー制度とその役割についてお話をさせていただき、その後、地区米山奨学委員会メンバー、学友会役員の紹介そして米山奨学委員会の年間スケジュールをご案内させていただきました。

続いて、長岡東RCのカウンセラー岸伸彦さん、奨学生のバヤルサイハン・ウールツォルモンさん、新潟万代RCのカウンセラー千田芳資さん、奨学生の張博（チョウ・ハク）さんよりそれぞれカウンセラー・奨学生としての体験をお話いただきました。お二人のロータリアンによる体験談は、奨学生との最初の出会いからカウンセラーを通して絆が深まり、お互いを思いやる気持ちが伝わり本当に心の温まる素晴らしいお話でした。

これから、新しくカウンセラーになられるロータリアンの皆様には、米山奨学事業の意義を十分理解していただける機会になったと思います。







06 角田山登山の報告書

「山の会」会長　立川　龍雄（新潟東RC）
幹事　鹿嶋　和子（中条胎内RC）

今年度のロータリー地区行事「山の会」は、新潟を代表する花の山・角田山への登山を計画いたしました。

寺泊温泉・美味探究の宿住吉屋に3月26日・土曜日に県内各地からロータリーの親睦と花の山を楽しみに26名の会員が集まりました。お互いの健康に感謝しながら、一年ぶりの再会を喜び合う姿が見られました。今年度は、若い会員やご家族からもご参加を頂き、若々しく元気に満ち溢れた楽しい会になりました。

登山当日は、雲一つない天候に恵まれて、木漏れ陽の斜面一面に咲く、雪割草やカタクリの愛らしい山野草を、カメラに収めながら、ゆっくりと山頂目指して登りました。火照った顔に、日本海からの風が心地よい花の道でした。

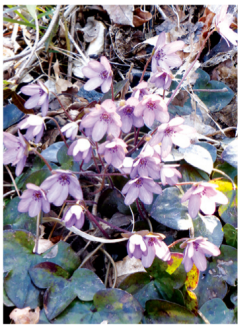
下山の灯台コースは　足元の山野草と青い日本海を真下に観ながら、佐渡島が手に取るように近く感じられ、充実感いっぱいの山歩きとなりました。

国際ロータリー第2560地区「山の会」は25年の歴史を重ねて参りました。25年間継続出来た事は、歴代ガバナーの深いご理解とご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

来年度の「山の会」の再会を祈念して、山本年度の「山の会：角田山登山」の報告とさせて頂きます。







07 第２回１年交換派遣学生オリエンテーション及び第１回夏季交換派遣学生オリエンテーション

青少年交換委員委員長　横山　亘（高田東RC）

この3月20日（日）に長岡まちなかキャンパスにて、2016-2017年度派遣予定の1年交換派遣学生オリエンテーション及び夏季交換派遣学生オリエンテーションを開催しました。1年交換派遣学生はアメリカと台湾へ2名、また夏季交換派遣学生ではドイツへ5名派遣予定となっています。ご推薦をいただきましたクラブの皆様には心より感謝申し上げます。

オリエンテーションは派遣前に行う勉強会のようなもので、交換学生のみならず、保護者、ホストファミリー、カウンセラー、クラブ関係者を対象とするものです。第1部では交換学生には、ロータリーの基礎知識や青少年交換の目的とルール、留学派遣の心構え、帰国後の任務をしっかりと学んでいただきます。また保護者、ホストファミリー、カウンセラー、クラブ関係者には交換学生受入の留意事項やその責務、また各トラブルに対する対処などを事前にご理解いただきます。

第2部では、ROTEXのメンバーから留学前の準備、留学先での成功・失敗体験、そして派遣先で行うプレゼンテーションの作成と発表のコツを教えていただきました。

最後に山本ガバナーから「人はひとりで生きてはいない。みなさんの派遣が成功するように大変多くの人々の協力をいただいています。その全ての人々に感謝する気持ちと挑戦する勇気を忘れないで下さい」とメッセージをいただきました。まさにロータリーの青少年奉仕活動のエッセンスだと感じました。今後共よろしくお願い申し上げます。



08 会員増強に向けて

水原ロータリークラブ会長　武田　真（水原RC）

本年度当ロータリークラブは最重要課題である「会員増強」にクラブ一丸となって取り組んできたが、ここ数年は会員減少に悩まされ財政的にも苦しい状況が続いていた。

平成2年頃が会員数58名のピークでありその後に減少の一途を辿り、なんと私の年初は近年最低人数の23名。そのような現状の中で、手始めに会長として増強への力強い意気込みをクラブ全体に浸透させることが第一と本年度はスタートした。それと同時にクラブの厳しい現状認識の共有も必要と考えた。危機意識と言えば大げさかもしれないが、存続していくために必ず増強しなければ近い将来において、クラブの存続が危ぶまれるくらいの緊張感が是非とも必要なのである。なぜならば小規模クラブの減少傾向はすでに十数年前から続いている。むしろ減少は常習化しており、停滞した雰囲気を打開することは決して容易ではないことを会員の誰もが知っている。だからこそ、積極的な増強への取り組みにも重い腰は上がらない。増強が必ず達成されることへのクラブの「自信」を取り戻すことからまず始めなければならない。現在はある程度クラブ内に増強への意識づけが功を奏し、本年度新たに4人のメンバーが誕生した。増加率では健康や仕事の都合でやむを得ず退会する会員がおられるので一進一退であるが、次年度の会長も増強に向けて闘志を燃やしておられるので、更なる飛躍を期待しているところである。会員増強の要諦はまず「会長がやる気を示す」。そのことの大切さを学んだ増強への取り組みでした。



▲メンバーによる卓話

09 次年度からのお知らせ

4月23日、田中年度の「地区研修・協議会」がホテルニューオータニ長岡で開催されました。北 清治 様を講師に迎え、山本ガバナーを始めパストガバナー、地区役員、ガバナー補佐、各委員会の委員長ならびに委員、それに各クラブ会長、幹事等、総勢約600人の方から長岡にお集まり頂き、長時間に渡り、研修と協議をして頂きました。ありがとうございました。引き続き田中年度の行事にご協力をお願い致します。

次年度の主な行事

2016年6月18日（土）2016-17年度 会員増強セミナー
規定審議会報告・地区運営改善検討委員会
2016年10月6・7日（木·金） 地区大会記念親睦ゴルフ大会
2016年11月5・6日（土·日） 地区大会

10 新入会員

R C	氏 名	入会日	会社名
新発田	髙橋 重男	2016.4.4	(有)新潟サンクリーン
新発田	時田 一成	2016.4.4	新発田ヤクルト販売(株)
水 原	菅谷 義昭	2016.4.1	さくらの街信用組合
新発田城南	髙橋 敏幸	2016.4.14	タカハシ設備
新潟東	安達 博	2016.3.4	(株)市民調剤薬局
三 条	船越 良則	2016.4.6	三条サッシ工業(株)
加 茂	飛田 正玄	2016.3.17	法音寺
三条南	桑原 朋子	2016.4.4	(株)JTB関東 法人営業新潟支店
長岡東	江部 佑輔	2016.2.17	江部医院
長岡東	川崎 和朗	2016.4.27	明治安田生命保険相互会社
長岡東	小川 祐蔵	2016.4.27	(株)鶴亀社
長岡東	飯利美和子	2016.4.27	Miwakoテーブルサロン
長岡東	鈴木 一	2016.4.27	日本電気（株）長岡支店
長岡西	丸山 司	2016.4.7	(株)花園サービス
長岡西	小山 勝彦	2016.4.7	(株)ナガミネ
長岡西	北國 真哉	2016.4.7	(有)北國
高 田	加藤 公一	2016.3.4	平安セレモニー(株)
高 田	野津 省吾	2016.4.8	ホテルラングウッド上越
直江津	佐伯 寿一	2016.4.5	(株)北陸土建
高田東	藤岡啓一郎	2016.3.25	日本生命保険相互会社

【訃 報】 謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。
2016年3月 7日 ご逝去されました。 水 原RC 若月 了
2016年3月12日 ご逝去されました。 三 条RC 野水 文治
2016年3月30日 ご逝去されました。 直江津RC 荻野 順次郎

2015-16年度 出席報告書

クラブ名	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	3月末現在	女性	増減
第1分区（9クラブ）		85.12	355	363	37	8
新発田	3	95.13	92	93	0	1
村上	4	87.50	35	35	7	0
水原	4	81.81	23	25	1	2
中条	4	87.86	33	35	3	2
新発田城南	5	88.30	41	38	5	-3
豊栄	5	88.46	26	26	3	0
新発田中央	5	79.18	48	49	5	1
中条胎内	4	86.72	30	32	6	2
村上岩船	3	71.11	27	30	7	3
第2分区（9クラブ）		82.12	450	459	19	9
新潟	5	86.01	93	98	0	5
新潟東	4	85.41	64	64	8	0
新潟南	5	86.09	95	99	0	4
佐渡	5	85.70	7	7	0	0
新潟西	4	86.27	39	39	1	0
佐渡南	4	93.37	44	44	4	0
新潟北	4	57.14	45	46	0	1
新潟中央	5	74.40	26	25	0	-1
新潟万代	3	84.69	37	37	6	0
第3分区（6クラブ）		75.22	130	133	8	3
新津	4	71.25	20	20	0	0
村松	5	94.54	10	11	0	1
五泉	4	75.00	17	18	3	1
白根	5	76.27	44	42	3	-2
新津中央	5	72.27	28	31	1	3
阿賀野川ライン	5	62.00	11	11	1	0
第4分区（11クラブ）		77.02	358	364	23	6
三条	4	84.25	51	54	0	3
燕	5	66.43	33	33	1	0
加茂	4	84.29	29	29	6	0
三条南	3	84.83	49	50	1	1
分水	4	70.16	32	31	2	-1
見附	4	72.00	19	21	1	2
吉田	4	85.60	32	33	2	1
三条北	4	77.27	63	66	3	3

クラブ名	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	3月末現在	女性	増減
巻	4	80.00	9	9	0	0
田上あじさい	5	63.30	7	6	1	-1
三条東	4	79.04	34	32	6	-2
第5分区（7クラブ）		86.91	310	312	28	2
長岡	4	84.85	40	43	2	3
柏崎	5	87.49	46	46	0	0
長岡東	5	86.80	67	67	7	0
柏崎東	3	94.23	54	51	5	-3
栃尾	4	77.03	21	20	0	-1
長岡西	5	87.24	47	49	6	2
柏崎中央	4	90.72	35	36	8	1
第6分区（6クラブ）		80.41	154	155	9	1
十日町	4	93.05	31	31	1	0
小千谷	5	71.05	44	41	3	-3
雪国魚沼	5	72.30	22	24	4	2
十日町北	3	92.41	22	23	0	1
津南	3	81.48	26	27	1	1
越後魚沼	6	72.15	9	9	0	0
第7分区（8クラブ）		75.30	320	320	26	0
高田	4	96.67	62	64	0	2
直江津	5	75.94	49	49	3	0
新井	5	80.60	32	31	3	-1
糸魚川	4	46.42	41	42	3	1
高田東	3	79.28	39	37	2	-2
糸魚川中央	4	70.27	37	37	0	0
頸北	4	88.50	14	14	1	0
越後春日山	5	64.68	46	46	14	0

クラブ数	56クラブ
2015年7月1日会員数	2,077人
2016年3月末日現在会員数	2,106人
女性会員数	150人
純増減会員数	29人
当月平均出席率	80.30 %

掲載記事に関するお問い合わせ （紙面の都合で掲載できなかった写真はwebをご覧下さい。）

国際ロータリー第2560地区ガバナー事務所
〒951-8053 新潟市中央区川瑞町6-53 ホテルオークラ新潟1階
TEL:025-222-2561 FAX:025-222-2565
E-mail : k.yamamoto@rid2560niigata.jp
URL : http://www.rid2560niigata.jp

2560 検 索

公共イメージ向上作戦・ロータリーのブランドを高めるために

第 3 ゾーン公共イメージコーディネーター補佐
伊藤文利

RI は 10 数年前, 創立 100 周年を迎えるにあたりロータリーを更に規模拡大させるため新たな戦略計画を立てた。更にそれを裏付ける形で CLP, DLP を同時期に導入した事は記憶に新しい。戦略計画によるクラブ強化、財団強化、広報強化の 3 点を推し進め、ロータリーの発展を期する一方、CLP ではクラブの管理組織を改編し 5 大常任員会を立ち上げ、その中に会員増強、財団、広報の 3 委員会を組み込んだ。

以上の事実から 3 大優先事項と銘打ったこの 3 点は現在我々ロータリアンが最も重要視し、且つ実現すべき約束事であると認識しなければならない。その 3 部門の中で特に我が国の「広報」は歴史的にマイナー扱いにされ、軽視されていたと思う。実際、ロータリーは一部の市民から金持ちの昼飯会とも誤解されたり、我々が記念物建立しても後面の片隅に小さくクラブ名を刻むだけ等、いわゆる陰徳精神が奨励されていた為か、どんなに良い奉仕をしても市民には我々の善意が十分に伝わらなかったし、地域社会にも正しく理解されていなかった。

RI はそれらを踏まえ、諸々の情報を我々に「内部広報」としてゾーン、地区、クラブに流し続けて来た。一方、末端のクラブは夫々の奉仕活動を地区、ゾーンを経て RI へ計数的に報告するよう最近になって奨励し始めた。

このような実績と戦略計画の周知徹底の努力の結果、ロータリーに関する積極的「外部広報」やそのスキルも少しずつではあるが洗練され、形が見えるようになって来たと思う。その実例として世界各地のロータリー奉仕活動は色んなメディアに取り上げられ、広く社会に詳しく報じられるようになった。その数や頻度は年々増え続けているのは大変喜ばしい。特に RI が熱心に進める SNS〔フェースブック、ツイッター等〕の様な IT 活用による PR 戦術は将来益々発達すると考えられるので、我々も遅れをとらないようにしたい。

さて、我々は 110 年の長きに亘り「超我の奉仕」を黙々と実行してきたが、ロータリーの地域社会における認知度は残念ながら僅か 20%と誠に低く嘆かわしい。その為、RI はロータリーのブランディング化を強く推し進めて来た。ブランドとして認知度の低いロータリーを有名ブランドに育てあげるのが我々の仕事である。しかしブランドとして認知されるのはロータリアンの力ではなく最終的に市民の選択である事を忘れてはならない。市民にロータリーをブランドとして認識してもらう為には普段からコツコツとクラブが、会員個人が地道に奉仕活動を続け、まず「認知」してもらう、「信頼」してもらう、「好意」を持ってもらう、そして今後に「期待」してもらう、この繰り返しがロータリーブランド醸成の素地だと認識すべきであろう。

大切な事は我々ロータリアン一人一人が誰からも尊敬と信頼される社会人・職業人として存在する事が最高の広告塔であり、ブランディングの礎石でもあると確信します。

ハイライトよねやま 193

2016 年 4 月 12 日発行
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

寄付金速報 ― 2015-16 年度もあと 3 カ月 ―

3 月までの寄付金は前年同期と比べ 4.1%増、約 4,800 万円の増加です。普通寄付金が 0.4%増、特別寄付金が 6.0%増となり、特に単月寄付額で比較すると 3 月分の寄付額は 2001 年度以降、最高額となりました。ご寄付をいただきました皆様に心より厚く御礼申し上げます。今年度残すところ 3 カ月弱は、特別寄付金が主な寄付金収入となります。引き続き、当会奨学事業へのご支援をよろしくお願い申し上げます。



↑HP で地区別・クラブ別の寄付額がチェックできます

新奨学生オリエンテーションスタート

2016 学年度の奨学生は 751 人となりました。新規採用数は 554 人、継続者は 197 人です（4 月 11 日現在）。国・地域別では中国が 40.1%、次いで韓国が 15.3%、ベトナム 12.5%、台湾 4.3%の順となっています。近年ベトナム人奨学生の増加が著しく、2009 学年度以降、台湾を抜いて 3 番目に多くなっています。プログラム別では、学部・修士・博士課程ロータリー米山記念奨学金 715 人（学部課程：251 人、修士課程：287 人、博士課程：177 人）、地区奨励奨学金 15 人、クラブ支援奨学金 6 人、海外学友会推薦奨学金 4 人、海外自由応募奨学金 11 人となっています。

4 月～5 月中旬にかけて、各地区でオリエンテーションが開催されます。オリエンテーションは初めて学生とカウンセラーが出会う場であり、奨学生としての義務やロータリーについて理解してもらう場です。確約書に署名をした後、正式に米山奨学生となります。どうぞ温かくお迎えくださいますようお願いいたします。

韓国に米山学友会を母体とした衛星クラブが誕生



韓国にこのたび、米山学友会を母体としたロータリー衛星クラブが誕生しました！第 3650 地区セソウルＲＣのもとに創立された新しい衛星クラブの名は、「韓国米山セソウル・ロータリー衛星クラブ」。31 人の創立会員全員が、韓国学友会に所属する米山学友です。

3 月 26 日にソウル市内のホテルで開催された創立総会には、学友 20 余人のほか、李泳鎬（イヨンホ）第 3650 地区直前ガバナーや朴虎君（パクホクン）同地区次期ガバナー、南宮根（ナムクングン）セソウルＲＣ会長などが出席して、新クラブの門出を祝いました。創立会長の林基元（リンキウォン）さん（1989-91／佐野ＲＣ）は、「会員は皆、米山の学友で、ロータリー精神を引き継ぐ人たちです。今後さらに会員を増やし、発展に努めたい」と、意欲を見せます。また、韓国学友会会長を務める全炳台（ジョンビョンテ）さん（1980-83／仙台北ＲＣ）は、「クラブ創立を検討・準備する過程で学友同士が親しくなり、学友会の関係がとても良くなった。学友会と衛星クラブ合同の奉仕活動やシンポジウムなど、互いに協力して新しい活動を計画していきたい」と、語りました。

タイ米山学友会が総会を開催　― 新役員が決定 ―

3 月 13 日、タイ米山学友会総会がバンコク市内で開催され、学友 19 人のほか、ビチャイ・ラタクル元国際ロータリー会長、日本のロータリアンら計 33 人が出席しました。2 年に 1 度の役員改選では、新会長にシュティカーン・テプサンさん（1993-95／新大阪ＲＣ）、副会長にアヌチャー・ボリブーンさん（1993-95／豊橋北ＲＣ）とワラウット・ブンロッドさん（1995-97／福岡東南ＲＣ）、そのほか理事と幹事 3 人が選任されました。



同学友会は 2012 年に創立後、海岸清掃や児童養護施設への慰問などを行っています。シュティカーン・テプサン新会長は、「日本の米山奨学金をいただいた仲間とともに、社会貢献と交流活動を引き続き実施します。会員を増やして互いのコミュニケーションを深め、皆の意見を聞きながら年間計画を作成する予定です。また、タイだけでなく他国の学友、日本やタイのロータリークラブとの交流活動も実施していきたいです」と、抱負を語ってくれました。

ネパールで被災者への奨学支援をスタート！



昨年 4 月に発生したネパール大地震への義援金として、日本全国のロータリアン、米山奨学生・学友から総額 14,042,247 円の義援金が寄せられました。予想を超える多額の義援金をいただいたため、ネパール米山学友会では当初の計画を練り直し、奨学基金を設立して被災学生を対象とする教育支援に着手することを決定しました。

今年 1 月、新聞広告による奨学生の公募を開始、2 月に学友会役員会による選考がカトマンズ市内で行われ、157 人の申込者（うち有資格者 76 人）のうち、小学校 4 年生から高校 3 年生までの 24 人が合格しました。3 月 26 日には学友会役員と保護者および本人との面談が行われ、家庭環境の確認のほか、勉学に励むことなど奨学生としての心得が伝えられました。奨学金は 1 人につき年額 10,000 ルピー（約 1 万円）、成績によって継続支援も可能としています。

Go Go Seoul!　ソウル国際大会情報

「米山学友合同懇親会 in Seoul」のご案内

・日時：　**5** 月 **28** 日（土）18:30～（受付開始 18:00～）

・場所：　ノボテルアンバサダー江南ホテル

・登録料：　●ロータリアン：8,000 円/人　●学友･奨学生：　5,000 円/人
●子ども（小学生以下）：　3,000 円/人

・申込み方法：当会ホームページから案内をダウンロードして、案内の中の登録用紙にご記入いただき、FAX かメールで、米山奨学会までお送りください。また、登録料を米山奨学会口座にお振り込みください。

・申込み締切：５月５日まで（ただし、定員に達し次第、締め切らせていただきます）

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011　東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel：03-3434-8681　Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津（のづ）・峯（みね）

平成２８年４月２５日

ガ　バ　ナ　ー　各　位

ロータリー文庫運営委員会
委員長　　中村博亘

拝　啓
春風の候、貴ガバナーはじめスタッフの皆様には益々ご健勝にてご活躍の事とお慶び申し上げます。また常々文庫へのご協力を心から感謝致しております。
このたびは、下記９点をご紹介いたしますので「ガバナー月信」にご掲載下さるようお願い致します。
なお今後ともご活躍とご成功を心からお祈り致しております。

敬　具

追　伸　下記ご掲載の場合は［申込先］もご記載下さるようお願い致します。

文庫通信（344号）

http://www.rotary-bunko.gr.jp

「ロータリー文庫」は日本ロータリー５０周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。
ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約２万４千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。
クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。　以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報

◎「Rotary Magic」　江崎柳節　2016　12p　（D.2710月信地区大会特集号）

◎「ロータリーにおける意志と信頼」　ビチャイ・ラタクル　D.2550　2015　43p　（D.2550地区大会記念講演）
◎「ポール・ハリスとロータリー」　諏訪昭登　2016　7p

◎「入り手学ぶ奉仕の心」　安孫子貞夫　2016　4p　（D.2800月信）

◎「ロータリーは円形ではない。楕円形である。」　塚原房樹　2016　1p　（D.2510 月信）
◎「転轍手待望論」　塚原房樹　2016　2p　（D.2510 月信）

◎「クラブ定款は自分のクラブ独自のものか？」　櫻木英一郎　2016　1p　（D.2790 月信）
◎「ロータリーの目的　その１～４」　深川純一　2015　4p　（純ちゃんのコーナーPartⅩⅣ）
◎「決議23-34」　東大阪みどりR.C.　2016　2p　（ロータリーの歴史に学ぶ）

［上記申込先：ロータリー文庫］

ロータリー文庫
〒105－0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階
TEL（03）3433-6456・FAX（03）3459-7506　http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前 10 時～午後 5 時　休館＝土・日・祝祭日